

北陸新幹線レポート 《第11号》

～響くつち音、広がる未来～

令和3年2月18日発行

本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

金沢・敦賀間の1年の工期遅延と2,658億円の事業費増加

北陸新幹線（金沢・敦賀間）について、令和2年11月11日の与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム（以下「与党PT」）の会合において、鉄道・運輸機構から工期の1年半程度の遅延と事業費の2,880億円の増加が示され、翌12日には、国土交通省の上原鉄道局長と機構の北村理事長が来県し、その内容を杉本知事と畑県会議長に説明しました。

福井県では、県議会や富山・石川両県とともに、予定どおりの**令和4年度末の開業**や**地方に負担を転嫁させない財政措置**、**徹底的な原因究明**と**管理監督体制の強化**などを繰り返し政府・与党に要請しました。

国土交通省が設置した、外部有識者からなる検証委員会は、工期短縮や事業費縮減について検討し、令和2年12月10日、**1年程度の工期遅延**、**2,658億円の事業費増加**を内容とする中間報告書を取りまとめました。

与党PTにおいては、地元の意見や検証委員会の中間報告を踏まえて議論がなされ、令和2年12月15日に令和5年度末までの開業や沿線自治体に負担が極力生じないような措置などを政府に申し入れました。これに対し、翌16日、赤羽国土交通大臣は、**令和5年度末の完成・開業**に向けて最大限努力すること、**2,658億円の財源構成を貸付料1,934億円、国負担482億円、地方負担241億円**とすることなど、対応方針を示しました。

県では、工程管理の徹底による令和5年度末までの確実な開業や地方負担の継続的な更なる縮減、新幹線開業に向けたまちづくりに対する政府全体での継続的な支援などを、県議会とともに政府・与党に強く求めています。



令和2年11月12日
国土交通省 上原鉄道局長、鉄道・運輸機構 北村理事長
と杉本知事、畑県会議長の面談



令和2年12月11日
北陸3県の知事、議長による赤羽国土交通大臣への緊急要望

第1回 工程・事業費管理連絡会議が開催されました

今回の工期遅延・事業費増加において、福井県をはじめとする関係自治体に正確な情報が適切に伝わっていなかったことが大きな問題となり、国の検証委員会の中間報告書でも、情報提供が早い段階で行われていなかったことが課題とされました。

こうした反省を踏まえ、工事の進捗や事業費の執行の状況等を沿線自治体と定期的に共有し適切に管理するため、福井県、石川県、国土交通省、鉄道・運輸機構などからなる**金沢・敦賀間工程・事業費管理連絡会議**が設置され、**1月22日に第1回会議が開催**されました。

会議では、各工区の工事の進捗状況や遅延の原因となった敦賀駅、加賀トンネルの工事の現況、発生しているリスク要因などが報告されました。

（敦賀駅工区）

- ・ 昨年の計画工程よりも約1.5か月先行している状況

（加賀トンネル工区）

- ・ 盤ぶくれ対策工事の約53%が完了したが、**クラック（ひび割れ）が拡大している箇所が確認されたため**、今後、追加対策を検討

連絡会議は、年3～4回程度の開催が予定されており、この他に実務担当者による幹事会も月1回程度開催される予定です。県では、工期遅延や事業費増高が二度と生じないよう、この会議を通じて、工事工程や事業費の執行が計画通り進捗しているか、新たなリスク要因が発生していないか、監視していきます。



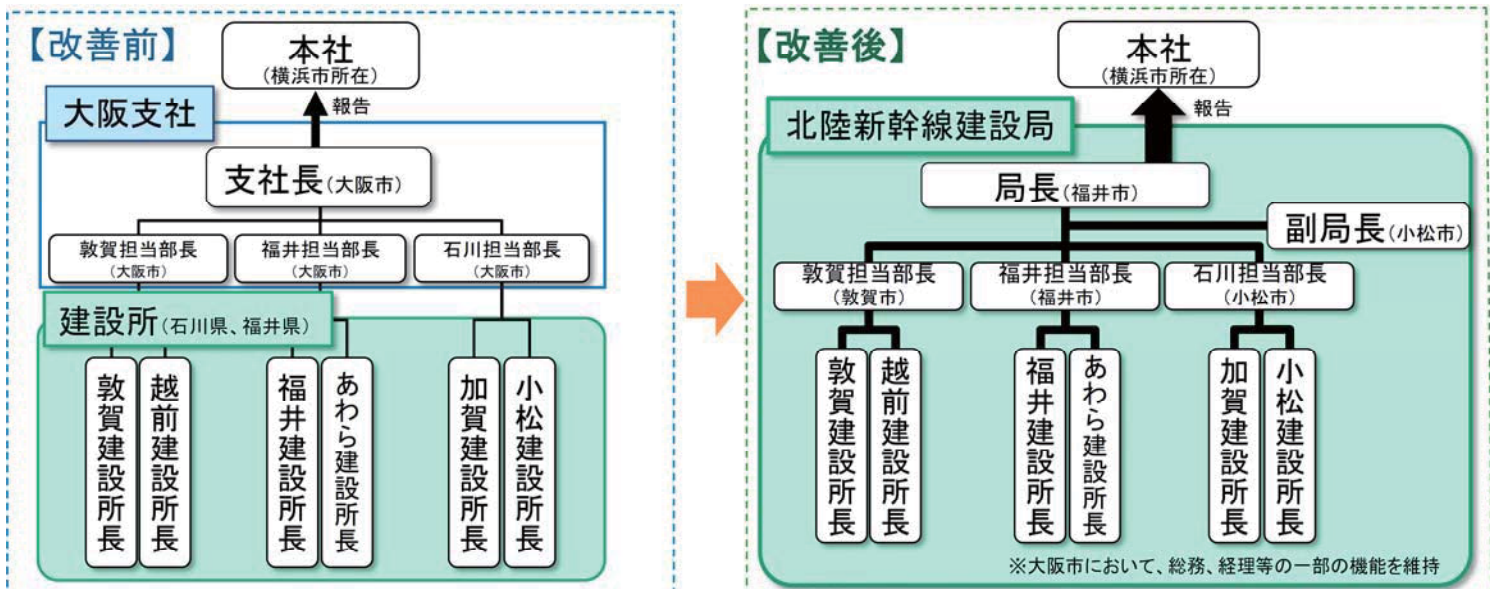
1月22日 第1回会議（WEB）

北陸新幹線建設局（仮称）が新たに設置されます

1月29日、鉄道・運輸機構は、昨年12月に受けた業務改善命令に対する改善措置を国土交通省に報告しました。その中で、現在の大阪支社を廃止し、地域密着型の組織として、4月に**北陸新幹線建設局（仮称）**を設置することを明らかにしました。

局長を福井市、副局長を小松市に配置するとともに、敦賀、福井、石川の地域ごとに担当部長を配置するなど、現場の正確な状況を把握し、情報が迅速かつ正確に本社に伝わるよう、体制を見直し、事業執行体制の強化を図ることとしています。これにより、**新たに数十名の職員が現地に配置**される見込みです。

なお、改善措置には、工程と事業費を同時かつ総合的に審議する事業総合管理委員会の設置や工程管理・事業費管理の結果について第三者委員会から客観的な評価・助言を得る仕組みの導入、上述の工程・事業費管理連絡会議の開催なども盛り込まれています。

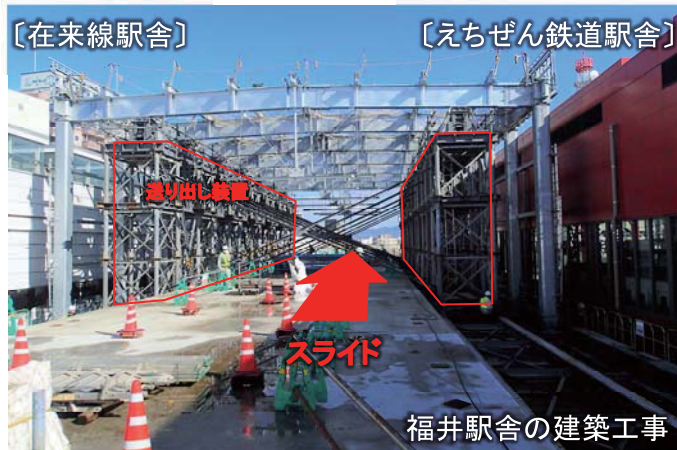


福井駅を皮切りに、新幹線駅舎の建築工事が始まりました！

令和2年10月5日、金沢・敦賀間につくられる6つの新幹線駅の中で初となる本格的な駅舎建築工事が、福井駅で始まりました。

北陸新幹線の福井駅は、駅の一部が在来線とえちぜん鉄道の福井駅に挟まれて、クレーンを近づけることができないため、大型クレーンで鉄骨を高架橋の上に吊り上げて組み立てた後、送り出し装置に乗せて移動させる「スライド工法」が採用されています。

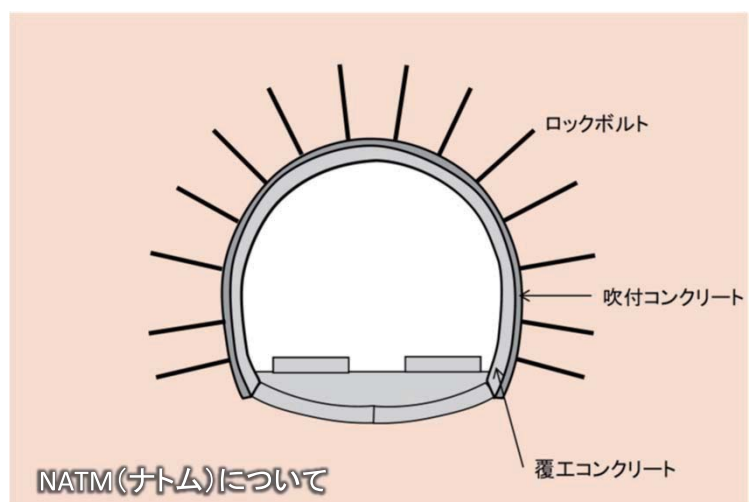
福井駅以外の県内の3駅については、南越（仮称）駅が令和2年11月9日、芦原温泉駅が同年11月19日に本格着工しました。なお、敦賀駅は令和4年春頃に本格着工する予定です。



新北陸トンネルをはじめとする県内全12トンネルが貫通！

県内区間で12あるトンネルのうち、南越前町と敦賀市にまたがる県内区間で最長、全国で6番目の長さの新幹線トンネルとなる「新北陸トンネル」（延長約19.8km）が、令和2年7月10日に貫通。続いて、最後に残った敦賀市の「深山トンネル」（延長768m）も令和2年8月3日に貫通し、**全トンネルが貫通**しました。

これらのトンネルは、**NATM（ナトム）**という工法を用いて掘られました。この工法は、ダイナマイトで発破もしくは重機による掘削を行った後、砕いた岩（ずり）を運び出します。その後、コンクリートを吹き付けた壁面にロックボルトを打ち込み、コンクリートと岩盤を固定し、最後に覆工コンクリートを施工して仕上げる工法です。山岳部にトンネルを掘る際の標準的な工法として使われています。



北陸新幹線親子現場見学会を開催しました

令和2年10月3日（土）、小学生とその家族31名（13組）の参加のもと、あわら市内の北陸新幹線工事現場（竹田川橋りょう）で見学会を開催しました。

参加者は、鉄道・運輸機構の担当者から説明を受けて工事への理解を深めたあと、今しか見ることができない、レールが敷設される前の高架橋を間近で見学しました。子どもたちは、「早く市内を走る新幹線を見てみたい！」と福井・敦賀開業に向けて期待を膨らませていました。



公式YouTubeチャンネルを開設しました

新型コロナウイルスの影響により、現場見学会や出前講座など、県民の皆様へ直接広報する機会が少なくなっています。そこで、工事の進捗状況や開業効果について広く発信するため、福井県新幹線建設推進課の公式YouTubeチャンネルを開設しました。

このチャンネルでは、県のホームページに掲載されていた工事の進捗状況の説明動画はもちろん、今後の工事の進捗に併せ、随時、新しい動画をアップし、内容を充実させていきます。

ぜひチャンネル登録をして動画をご覧ください。



QRコード



福井県新幹線建設推進課

チャンネル登録



北陸新幹線福井駅の建築工事が始まりました！



北陸新幹線 新北陸トンネル（田尻）工事記録動画



レール発進動画

公式YouTubeチャンネル(イメージ)

発行：福井県地域戦略部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL：0776-20-0298

Email:shinkansen@pref.fukui.lg.jp

写真提供：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

建設現場の定点写真を公式Youtube、HPで公開中！



福井県 新幹線工事

検索